



十和田で べこもちに チャレンジ

「はじめてのべこ餅づくり、とても楽しかったです。形が整い、切った時はとても感動しました」— 12月16日、十和田市で「下北地方の郷土料理！ べこ餅づくり」と題した催しが行われました。抽選で参加した25名（申し込みは49名）が、下北地域リーダーの木村秀子さん（他に、むつ市の竹内節子さんと大藺睦子さん）を講師に「たばね」と「菊模様」、2種類の模様のべこもち作りにチャレンジしました。

上北地域でお楽しみ交流会



上北地域で活動する委員が交流を深める「お楽しみ交流会」が12月6日、十和田市内の市民交流プラザで行われました。「負けるが勝ち」と題したじゃんけん大会やパターゴルフ、体操や合唱、詩の朗読、お話し会、楽器の演奏など、地域の各委員会が工夫した様々な出し物で盛り上がり、同じ地域で活動する委員どうし交流を深め合いました。

メーカーの担当者を講師に学習会



「コープ化粧品を実際に試すことが出来て良かったです」— 弘前地域「商品産直委員会」が主催した「コープメイク学習会」が11月28日、新築オープンした和徳店で行われました。メーカーのクラブコスメチックスの担当者を講師に、皮膚の仕組みやコープ化粧品のこだわり、メイクの仕方などについて学習し、手に取って確かめた参加者からは、「安心して使えることがわかり、勉強になりました」という感想などが出されていました。

トピックス



ピースアクションinヒロシマ 報告会



「14歳の奏輝くんの決意を聞いて、とても嬉しかったです。身近にいる若い人たちにも、いつか現地に行き感じてほしいと思いました」— 12月21日（土）、コープあおもり本部で、「ピースアクションinヒロシマ」参加報告会が開催されました。

昨年の8月4日～6日、広島で開催された「ピースアクションinヒロシマ」に参加した弘前市の奈良岡聡子さん・奏輝さん親子の報告を聞いた後は、被爆者の願いである「核兵器禁止条約」や5年に1度国連本部（ニューヨーク）で行われるNPT（核兵器不拡散条約）再検討会議に向けての学習などが行われました。

五所川原で葬祭ホール見学会

コープあおもりLPAの会と地域リーダー会が共催した「葬祭ホール見学&葬祭学習会」（主催はコープあおもり葬祭センター）が、12月6日、オープン前のコープ葬の提携ホール（土井花店が運営する五所川原市一ツ谷の「フローラルホール一ツ谷」）で行われました。



参加者は、初めに、コープ葬提携の「土井花店」代表取締役の土井悟さんや葬祭ホールの担当者の案内で施設を見学。家族葬にも対応しており、最大230名収容可能というホールや別棟になっている「御遺体安置室」（フローラルハウス）などを見学。その後、葬祭センターの担当者を講師に、自然葬や墓じまい、コープ葬や「まごころ積立」などについての学習が行われました。参加者からは、「いろいろなことがわかり、出席して良かったです」「たくさん考えることがあるなど実感しました」「土井さんのお話しが、実情がわかってとても良かったです」という感想が出されていました。



古今東北の商品を学習



12月6日、移転新築した和徳店で弘前地域の店舗こ〜ぷ委員を対象とする学習会が開かれました。テーマの一つはWeekでもお馴染みの「古今東北」の商品学習会。「古今東北」のブランドは、東北の震災復興と地域経済活性化への貢献をめざし、5年前に立ち上げられたというもの。商品の開発や販売などにあたる「東北協同事業開発」（コープ東北や日専連等が出資）の担当者（円内）を講師に、商品について学習を行いました。



手に手をとって募金活動に取り組む「ユニセフ ハンド・イン・ハンド」募金が毎年11月～12月に行われます（今回のテーマは「すべての子どもに生きるチャンス」）。1979年の国際児童年に始まったというもので、コープあおもりの各地域でも取り組みが行われています。写真は12月13日、むつ市内のスーパー2ヶ所で、店舗の入り口をお借りして実施した下北地域の取り組みです。

るいけ店（八戸市）での 子育てひろばで



親子でゆっくり過ごしたり、サポートする組合員に子供を見てもらいながらお母さんどうしおしゃべりをしたり...子育てを応援する「子育てひろば」の取り組みが県内4会場で行われています（店舗の新築で休止中の弘前会場が再開）。開催は月1回。参加費無料で申し込み不要。日時、会場等は「週刊版ニュース」でご確認ください。写真は、12月17日開催の八戸会場（るいけ店）で。